

# 手足口病

---

## 1. 手足口病はどんな病気ですか？

手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。  
おしりやひざにできることもあります。乳幼児の間で毎年流行します。  
熱はないか、あっても微熱程度です。  
まれに、無菌性髄膜炎をおこすことがあります。

## 2. どのような症状がでますか？

潜伏期間は、2～5日です。  
発熱は37℃台が多く、1～2日程度です。  
皮疹は手、手指、足、おしり、肘、膝などに小さい発疹がみられます。  
かゆみや痛みはありません。  
口の中にも水疱ができます。  
水疱がやぶれ、痛みのため食べられなくなることがあります。

## 3. 治療は？

治療をしなくても自然になおる場合がほとんどです。  
熱が高いときは解熱剤を使います。

## 4. 家庭ではどんなことに気をつければよいですか？

口の中が痛いときはしみない食べ物や飲み物ものをあたえましょう。  
熱いものや塩味、酸味の強いもの、かたいものはひかえましょう。

## 5. 登園・登校の目安は？

熱がなく、食事がとれれば登園・登校できます。

## 6. こんなときはもう一度受診しましょう。

- ①口の中のいたみで水分がとれない。(脱水が疑われるとき)
- ②高熱が続く、吐いてぐったりしている。(髄膜炎が疑われるとき)